



装飾古墳館の復旧に向けて 寄付金を贈呈いただきました

桂川町郷土史会より、先日火災のあった王塚装飾古墳館の復旧に対する寄付金を贈呈いただきました。

6月25日(木)、幸田 会長と皆越 副会長が町長室を訪れ、町長へ寄付金を贈呈されました。幸田会長は、「先日の火事の被害から1日も早く王塚装飾古墳館が復旧するための資金の一部に使っていただきたい。また多くの来訪者をお迎えできることを願っています。」と、寄付への想いを語られました。また、井上町長は、「王塚古墳は町のシンボルでもあるので、装飾古墳館の復旧作業を継続的に進めているところです。そういったさなかにご寄付をいただけるのは本当にありがたいです。郷土史会の方々の、王塚古墳や桂川町への想い、大事に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べられました。



桂川町老人クラブ連合会 ペタンク大会が開催されました

老人クラブ連合会による、毎年恒例のペタンク大会が開催されました。ペタンクはルールが簡単で、年齢や体力に関わらず誰でも楽しめるスポーツです。今回も75名の参加者がグループごとに得点を競いました。老人クラブ連合会では、他にもグラウンドゴルフ大会など健康づくり・仲間づくりができる活動を行っています。興味のある方は、ぜひ老人クラブ連合会にご参加ください。



優勝した
土師五チーム ▶



きちんとお世話できるかな？ 高校生と園児がひまわりの苗植え

嘉穂総合高校の生徒たちが育てたひまわりの苗を、きのみの森こども園の園児たちと一緒にプランターに植えました。これは、総合高校の農業食品科3年生の課題研究の一環で、園児が自分でひまわりを育てることで生き物を育む感性を学ぶこと等を目的としています。

まず、生徒がプランターに植える実演を行い、園児たちが一生懸命に真似をしながら、小さな手で苗を植えていました。始めは緊張した面持ちでしたが、最後はお互いに、笑顔でハイタッチする姿なども見られました。各プランターには園児一人ひとりの名前が記されていて、自分たちでお世話をしていくとのこと。きちんとお世話をして、きれいな花を咲かせてくださいね。



犯罪や非行のない、安全安心な社会への実現へ 保護司会が表敬訪問・街頭啓発

7月1日(火)、第75回社会を明るくする運動に向け、飯塚保護区保護司会の大塚 修一 会長より、井上町長へ内閣総理大臣および福岡県知事からのメッセージが伝達されました。

また、7月9日(水)には、保護司会桂川分区の保護司による街頭啓発がトライアル桂川店で行われ、犯罪や非行の防止を訴える啓発チラシやティッシュなどが配られました。桂川町では、4名の保護司の方が活躍されています。

